

平成 29 年 7 月 21 日に発表した「平成 30 年度 東京藝術大学 大学院美術研究科（博士後期課程）学生募集要項」の一部に変更がありましたので、以下のとおりお知らせします。

P.2 記載 5 研究領域及び研究室（指導教員）一覧

変更前

下記一覧表の中から志望する研究室（指導教員）名を願書の所定欄に記入すること。

また、今後（平成 29 年 7 月以降に）就任が決定する教員の研究室・指導教員情報については、東京藝術大学ホームページにおいて適宜公開する予定である。

【大学院美術研究科（博士後期課程）美術専攻における研究領域の新設について】

大学院美術研究科に係る教育研究組織の整備等により、平成 30 年度から、本研究科（博士後期課程）美術専攻にグローバルアートプラクティス（GAP）研究領域を新設する。

（注）★印は平成 29 年 10 月に就任予定の教員を示す。

☆印は平成 29 年 10 月に昇任予定の教員を示す。

○印は平成 31 年 3 月末に定年退職予定の教員であるが、学生の募集を行う教員を示す。

●印は平成 31 年 3 月末に定年退職予定のため学生の募集を行わない教員を示す。

△印は平成 32 年 3 月末に定年退職予定の教員であるが、学生の募集を行う教員を示す。

（兼）は、本学美術研究科の他研究室の教員が兼担していることを示す。

（併）は、東京文化財研究所の研究員が、本学教員として併任していることを示す。

※指導教員は、教育研究組織の整備等により、変更があり得る。

◆印は、平成 31 年度より彫刻研究領域にて指導予定の教員を示す。



変更後

下記一覧表の中から志望する研究室（指導教員）名を願書の所定欄に記入すること。

また、今後（平成 29 年 10 月以降に）就任が決定する教員の研究室・指導教員情報については、東京藝術大学ホームページにおいて適宜公開する予定である。

【大学院美術研究科（博士後期課程）美術専攻における研究領域の新設について】

大学院美術研究科に係る教育研究組織の整備等により、平成 30 年度から、本研究科（博士後期課程）美術専攻にグローバルアートプラクティス（GAP）研究領域を新設する。

（注）○印は平成 31 年 3 月末に定年退職予定の教員であるが、学生の募集を行う教員を示す。

●印は平成 31 年 3 月末に定年退職予定のため学生の募集を行わない教員を示す。

△印は平成 32 年 3 月末に定年退職予定の教員であるが、学生の募集を行う教員を示す。

▲印は平成 32 年 3 月末に定年退職予定のため学生の募集を行わない教員を示す。

（兼）は、本学美術研究科の他研究室の教員が兼担していることを示す。

（併）は、東京文化財研究所の研究員が、本学教員として併任していることを示す。

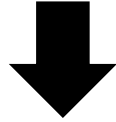
※指導教員は、教育研究組織の整備等により、変更があり得る。

◆印は、平成 31 年度より彫刻研究領域にて指導予定の教員を示す。

P.3

変更前

日本画研究領域：日本画第 3 研究室（古典研究を含む） △手塚雄二教授
工芸研究領域： 鑄金第 2 研究室 ★谷岡靖則准教授
工芸研究領域： 染織第 2 研究室 ☆上原利丸教授



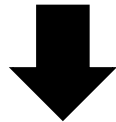
変更後

日本画研究領域：日本画 第 3 研究室（古典研究を含む） ▲手塚雄二教授
工芸研究領域： 鑄金 第 2 研究室 谷岡靖則准教授
工芸研究領域： 染織 第 2 研究室 上原利丸教授

P.4

変更前

芸術学研究領域：日本・東洋美術史 第 1 研究室 ☆片山まび教授



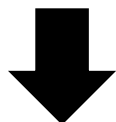
変更後

芸術学研究領域：日本・東洋美術史 第 1 研究室 片山まび教授

P.5

変更前

芸術学研究領域：工芸史研究室 ☆（兼）片山まび教授
文化財保存学研究領域：保存修復 工芸研究室 ★北野珠子准教授



変更後

芸術学研究領域：工芸史研究室 （兼）片山まび教授
文化財保存学研究領域：保存修復 工芸研究室 北野珠子准教授